

## はしがき

都市は、そこに生きる人間を正確に映し出す。古代から現代まで、人々を飲み込みながら、都市は成長し続けてきた。数世紀にわたる都市の成長は、必然的に、都市計画を求めるようになった。ヨーロッパ各地で見られたこうした傾向は、1789年の革命後のフランスで顕著となり、19世紀に首都パリを、世界に先駆ける近代計画都市へと変貌させた。都市の近代化はまた、都市の持続可能性が人間にとって不可欠であることを、人々に認識させていく。

日本の都市計画の源流もまた、フランスにたどることができる。1919年に最初の都市計画法が制定され、ゾーニングを重視するなど、両国の都市計画法制には共通点が少なくない。フランスはまた、都市計画法制の先端を行く国でもある。近年、都市計画法の大規模な改正を行うと共に、都市計画訴訟制度の充実化を進めるフランスの動向は、日本の都市計画法制にも示唆を与えるだろう。

本書は、筆者がフランスで行った在外研究の成果を中心に、都市計画法の多様な側面をまとめたものである。第Ⅰ部については留学時の論文指導、第Ⅱ部についてはフランスで実際に受講した大学院授業の内容を、それぞれ整理して考察を新たに加えた。第Ⅲ部では、筆者が国内で行う共同研究、委託研究の内容を紹介している。

フランス国立リモージュ大学大学院法学研究科修士課程（環境・国土整備・都市計画法専攻）在学中、2011年度・2012年度・2014年度大阪府立大学在外研究員としてのフランス滞在時のいずれにおいても、ミ

シュール・プリユール先生(リモージュ大学名誉教授), ジェシカ・マコウイアック先生(リモージュ大学教授)の両氏には大変お世話になった。

本書の執筆にあたって特に, フランス行政法研究会, 関西民事訴訟法研究会, 国際公共経済学会の諸先生から貴重なご教示を賜った。また, 早稲田大学比較法研究所招聘研究員, 大阪市立大学都市研究プラザ運営委員として, 都市に関する比較法研究を継続する機会に恵まれた。

本書の出版について, 法律文化社の掛川直之氏に多大なご尽力をいただいた。

皆様に深く感謝申し上げたい。

2016年 春

久末 弥生

Remerciements

Je remercie vous beaucoup, Professeur Michel PRIEUR et Professeur Jessica MAKOWIAK.

printemps 2016

Yayoi HISASUE